令和８年度　第７回豊田市藤岡地域会議　　議事録

開催日時	令和８年１０月２９日（木）	開会	閉会
		１８時５９分	２０時５２分
会　　場	藤岡交流館　多目的ホール		
出 席 者	委　　員　１５名出席（欠席：尾崎委員） 藤岡支所　山田支所長、中山副支所長、成瀬担当長、内野主事 近藤市議		
次　　第	１　「豊田市民の誓い」唱和 ２　開会 藤岡地域会議会長あいさつ ３　議事 （１）今後の進め方について （２）ヒアリングに向けた準備について ４　報告 委員からの報告（各団体の活動など） ５　事務連絡		

■議事（要約）

第７回藤岡地域会議　定例会

３　議事

（１）今後の進め方について

提言に向けた今後の検討体制について、案２「ヒアリングや課題整理は班ごとに行い、解決策検討や提言作成は全体で行う」を選択した。なお、班ごとの検討から全体協議に戻る時期については、改めて協議することとした。

（２）ヒアリングに向けた準備について

２テーマについて、ヒアリングに向けて「課題の仮説（誰が、どのようなことに困っていそうか)」を検討した。各テーマの検討対象について、テーマ①は「高齢者」、テーマ②は「地域住民」とした。これらをもとに、「目指す姿（どのような地域になればよいか)、「何を聞くか（質問内容)」、「誰に聞くか（質問先)」の案を次回までに考え、持ち寄って検討することとした。

テーマ①「移動手段の確保」

【整理結果】

- **誰が・場面**：共助交通の運営に関わる人、高齢者、自分で移動することが難しい病人、通学するこども、夜間に帰宅する地域住民
- **困り事**：共助交通の事故時の補償や市の援助終了後の継続支援、通院・買い物等の交通手段、夜間の帰宅手段の少なさ、バスの乗り方が分からないこと、移動手段が進学先の選択に及ぼす影響

【参考：主な意見】

・でかけ～るふじおかなどの共助交通について、事故が発生した際に誰が補償するのかが課題となる。また、市の援助終了後も継続できるよう、支援が必要である。
・高齢者の通院や買い物の際の交通手段が課題となる。大人の世代の交通手段に対する不満が減れば、若い世代にも好影響があるのではないか。
・夜間は、地域住民が帰宅するための手段が限られている。
・自分で移動することが難しい病人の移動も、検討の対象になる。
・こどもは、バスの乗り方すら分からない場合がある。また、移動手段が限られるため、進学先の検討範囲に影響する。

テーマ②「地域防災を担う人材・意識の不足」

【整理結果】

・**誰が・場面**：農業用水路を管理する田の所有者、消防団への加入を希望する人、消防団員、災害時の地域住民、近隣住民
・**困り事**：農業用水路の管理不足による被害拡大への懸念、消防団への加入方法や役割の分かりにくさ、地域の災害情報の収集方法が分からないこと、近所で支援が必要な人を把握できないこと、共助できる関係が築かれていないこと

【参考：主な意見】

・農業用水路の管理が田の所有者個人に委ねられている。管理されていない箇所は、大雨等の際に詰まり、被害を大きくする要因になるのではないか。
・消防団に興味を持っても、加入方法が分からない人がいる。
・消防団員にとって、消火活動等の役割が不明確であり、活動への意欲が高まりにくい。
・災害時にはリアルタイムの地域情報が必要であるが、情報収集の方法が分からない。近助・共助のためには、情報共有が必要である。
・近所で誰が助けを必要としているのか分からず、近隣住民同士で共助できる関係が築かれていない。
・「１０００年に１度の大雨」という基準が分かりにくい。

【今後の開催予定】

第８回地域会議（１１月２６日（木）午後７時から藤岡交流館　多目的ホール）